

ご挨拶

平成25年2月
地方連携推進室首席事務官
吉田智久美

昨年12月27日付で海洋室から地方連携推進室に配属となりました。皆様と一緒に仕事をさせていただくことを楽しみにしております。どうぞよろしくお願ひいたします。

外交を推進する上で、地方自治体は重要なプレーヤーとなっており、当室においては、（1）地方の魅力を世界に発信する場を提供すること、（2）地方の国際的取組を支援すること、（3）地方の国際交流に関する情報交換の場を提供することなどを施策の柱に掲げ、オールジャパンによる総合的な外交力の強化に取り組んでいます。

このような施策の一環として、1月には、駐日外交団に対して地方の魅力を発信するセミナーを、また、2月には、自治体の方々の参加を得て、地方連携フォーラムを、さらに、駐日外交団による地方視察ツアーを実施しました。このほかにも、在外公館施設を活用した自治体による観光誘致・物産展事業、大使等による本邦地方訪問時の講演・意見交換会、在外での地方訪問、グローカル外交ネットやグローカル通信を通じた情報の提供、自治体の方々の海外渡航支援など、当室では様々な事業を実施しております。こうした地方との連携事業は、自治体や外交団より、地方と海外を繋ぎ、交流を推進する上で有意義な取組であるとのお声を頂いており、成果をあげているものと認識しております。今後も、さらに効果的な事業の実施に向けて、自治体の皆様よりご提案、ご意見を頂ければ幸いです。

グローバル化が進む中で、地方と外国との交流も、従来の友好親善交流にとどまらず、観光、経済、農業、環境、防災、文化、青少年・教育交流などの、多岐にわたる分野で交流が展開されています。また、交流も、自治体、地域の経済活動主体、国際交流団体、市民社会などの多様な担い手の参加を得て推進されており、更には、多自治体間で広域的に連携を進めている例もあります。地方のイニシアティブによる、多角的多層的な国際交流は、これから限りなく発展する可能性を有していると思います。

今後、日本の魅力、強みを効果的に発信していくためには、国と地方が一体となって、フルキャスト・ディプロマシーを展開し、連携・協力をさらに充実

させることが大切です。地方との連携の在り方という課題に取り組み、智恵を絞って、地方の国際交流・国際協力に資する施策を可能な限り推し進めてまいりたいと思っています。

地方の国際的取組への支援は大変やりがいのある仕事であり、その業務の一端を担わせていただいていることを嬉しく思っています。

今後とも、よろしくお願ひいたします。